

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

埼玉県 地域ワークショップ 報告書

2019（平成 31）年 1 月 30 日（水）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」埼玉県ワークショップが開催されました。当日は、埼玉県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方 10 名（高等学校 4 名、特別支援学校 6 名）及び推進校ではない学校の先生方約 120 名の方々にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2019（平成 31）年 1 月 30 日（水）13 時 00 分～16 時 40 分

会場：ソニックシティビル棟地下 1 階

主催：埼玉県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：約 130 名

プログラム：

13:00～13:05 開会の挨拶

埼玉県教育局教育総務部教育政策課 課長 八田 聡史 氏

13:05～14:05 オリンピック・パラリンピック教育推進校の実践発表

推進校の先生方

14:05～14:20 オリンピック・パラリンピック教育に関する説明

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

14:20～14:35 休憩

14:35～15:35 トークショー「東京 2020 大会に向けて子供たちに伝えたいこと」

オリンピックロンドン・リオデジャネイロ大会 体操競技日本代表

加藤 凌平 氏

オリンピック北京・ロンドン・リオデジャネイロ大会 体操競技日本代表コーチ

加藤 裕之 氏

15:35～16:35 パラスポーツ体験会（ボッチャ）

埼玉県ボッチャ協会

県立上尾特別支援学校教諭

開会行事では、埼玉県教育局教育総務部教育政策課課長の八田聡史氏より挨拶がありました。次に、推進校の先生方より、実践報告が行われました。各推進校では、オリンピック・パラリンピックの講演だけでなく、異校種間の交流事業、地理や体育の授業を活用したオリンピック・パラリンピックに関連した学習、新聞記事を用いた調べ学習、地域の方々とのパラスポーツ交流等、様々な取り組みが行われたことが報告されました。また、アスリートの招聘等、事業を進めるうえで大変なことも多かったが、その分生徒への影響も大きかったという感想を述べている方も多数いらっしゃいました。



八田 聡史 氏



推進校の先生による報告①



推進校の先生による報告②



岡田 悠佑 研究員

推進校の先生による実践報告の後に、本センターの岡田悠佑研究員より、推進校ではない学校の先生方に向けて本事業の概要と実践事例の紹介が行われました。本事業が、東京都以外の国内地域へのオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの波及を意図していることや 2020 年の東京大会の先を見据えた取り組みであること、等が説明されました。

15 分の休憩の後、体操競技のオリンピックである加藤凌平氏と加藤裕之氏によるトークショーが行われました。リオデジャネイロ大会での思い出、オリンピックが他の大会と異なる点、オリンピックでの国際交流の体験、高校時代の生活、そして 2020 年の東京大会への想い等についてお話いただきました。

トークショーの後には、埼玉県ボッチャ協会の方々と県立上尾特別支援学校の先生の指導のもとでボッチャの体験会が行われました。ルールや投げる際の工夫等について紹介された後、実際に参加した先生方が 4 つのグループに分かれて対戦形式でボッチャを行いました。初めてボッチャをする方も多く、一投ごとに一喜一憂する姿が見られました。投げたボールがジャックボールの横でぴたりと止まると大きな歓声があがっていました。



ボッチャのルール説明



ボッチャ体験